

鳥取大学 山本 尚子

寝具に対して我々の要求する性能としては安臥性，保温性が最も重要なものである。寝具重量が保温力の大要を示す尺度となりうることに基き，試料寝具の構成は大體その季節の寝具を用い寝具重量比を6：4，4：6とし，昼上で安静睡眠時の皮膚温，被服最内温を銅コンスタン熱電対にて身体部位別に測定しその温差により快適温度を求めてみた。

快適温度は，寝床内湿度，寝具の熱伝導量，日光照射等により左右されるからそれ等による気温変化も検討する。